

基本情報	リストNo	25-001	施設コード	30001	所管課	本庁	上下水道部上下水道総務課			
	施設名	住吉庁舎			所管課	施設	上下水道部上下水道総務課			
	人員数	正規職員(人)	149	会計年度任用職員(人)	26	再任用(人)	11			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		浜松市上下水道部の主たる事務所及び災害時の上下水道復旧部の対策本部								
		主な業務内容	上下水道施設工事及び維持、給排水申込関連、検針及び料金 他							
		主な利用者	市民、事業者等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		特記事項	平常時・災害時問わず現在必要な施設である。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
事業④		—	2021	—	—	—	—	—	—	
	—	2020	—	—	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築後30数年経過し、老朽化した設備もみられる。								
	対応策	財政事情を考慮し、各設備は修繕を基本とし継続活用していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生活導入	災害時の本部及び水道基地として位置付けられていること及び敷地内に配水池を有しているため、民生活導入にあたっては、慎重に検討する必要がある。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	9,970	9,591	9,244	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
効率的な事務スペースの配置を不断に実施する中で、適切な維持管理に努める。災害時には、上下水道復旧部の対策本部として使用することを踏まえ、通信、自家発電設備等の必要な設備について随時更新する。								

リストNo	25-002	施設コード	30002				
利用用途別分類(施設分類)	上水道						
施設名	常光浄水場						
所在(町名・番地)	東区常光町1220-1						
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公用財産	—				
所管課	本庁	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人				
	施設	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人				
設置根拠(法)	地方公営企業法						
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例						
設置目的	市域の広がりと給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活用水の多様化による生活用水の増加等に対応するため、天竜川からの伏流水を確保し、昭和53年に常光浄水場が完成した。						
主な利用者	—						
運営形態	施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~						
管理者名	クボタ環境エンジニアリング(株)						
開館時間	—						
建物情報	総延床面積	4,875.49	土地面積	76,724.90			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地情報	72,492.00		
	地上階数(主要建物)	2				うち所有面積	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—				うち借地面積	4,232.90
	耐震工事(主要建物)	—				代表地目(現況地目)	水道用地
	建築年月日(主要建物)	1977/3/31					
	経過年数(主要建物)	46					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	39	39	39
	収入計(A)	39	39	39
支出(千円)	人件費	0	7,000	17,600
	物件費(委託料)	20,701	16,002	20,300
	維持補修費(修繕費)	86,615	19,458	19,979
	物件費(光熱水費)	177,789	109,698	100,916
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	285,105	152,158	158,795
行政コスト(B-A)		285,066	152,119	158,756
収支前年比		187.40	95.82	91.34
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	ろ過池屋根修繕工事	73,930	2020	常光浄水場配水ポンプ電気設備修繕工事	6,435
2022	常光浄水場外9施設電気設備修繕工事	11,101	2019	常光浄水場水管橋塗装改修工事	69,178
2021	常光浄水場浄化槽改修工事	24,868	2019	常光浄水場フェンス取替工事	16,482
2021	常光浄水場外灯取替修繕工事	3,410	2019	常光浄水場変電設備用無停電電源装置部品取替修繕工事	12,430
2021	常光浄水場外8施設電気設備修繕工事	11,272	2019	常光浄水場水質計器取替設置工事	8,910
2020	改工第9号 常光浄水場水管橋取水ポンプ改修工事→機務負担	189,219	2018	フェンス取替工事	12,335

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-084	恒武会館	コミュニティ	1.7
14-010	東消防署上石田出張所	地域	1.7
07-022	とよにしっご放課後児童会	生活	1.7
08-027	豊西幼稚園	生活	1.7
01-012	東区役所	地域	1.8
15-033	豊西小学校	生活	1.9
12-005	総合産業展示館	市域	1.9



基本情報	リストNo	25-002	施設コード	30002	所管課	本庁	上下水道部浄水課
	施設名	常光浄水場		施設	上下水道部浄水課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市域の広がりや給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活用水の多様化による生活用水の増加等に対応するため、天竜川からの伏流水を確保し、昭和53年に常光浄水場が完成した。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	特記事項		平常時・災害時問わず現在必要な施設である。				
設置に関する課題等(ハード面から)	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
—		2021	—	—	—		
—		2020	—	—	—		
—		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	省エネ対策の実施					
	対応策	配水ポンプの更新に伴う省エネ機器の導入及び小型化の検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
民活導入	運転管理等の業務委託						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	58,469	31,201	32,562	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。							

リストNo	25-003	施設コード	30003	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	大原浄水場			
所在(町名・番地)	北区大原町50			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
	施設	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	市域の広がりと給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活様式の多様化による生活用水の増加等に対応するため、三方原用水事業からの水利を確保し、昭和45年に大原浄水場が完成した。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	8,745.91	土地面積 164,275.91	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 156,741.40
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 7,534.51
	建築年月日(主要建物)	1970/4/1		
経過年数(主要建物)	53	代表地目(現況地目) 水道用地		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	376	132	124
	収入計(A)	376	132	124
支出(千円)	人件費	115,903	118,600	115,200
	物件費(委託料)	58,678	36,591	51,784
	維持補修費(修繕費)	108,148	147,859	156,225
	物件費(光熱水費)	33,156	23,282	20,130
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	315,885	326,332	343,339
行政コスト(B-A)		315,509	326,200	343,215
収支前年比		96.72	95.04	94.95
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	脱水機付帯設備修繕工事	47,461	2022	脱水機修繕工事	12,100
2022	1系ろ過池走行台外設備改修工事	43,607	2022	2系ろ過池ろ材更生工事	11,900
2022	排泥池流入弁改修工事	26,400	2022	1系3号沈殿池クリフワイヤ修繕工事	4,950
2022	1系沈殿池フロキュレーター修繕工事	23,650	2021	大原浄水場外水質計器取替設置工事	9,328
2022	2系沈殿池排泥池及び排水弁改修工事	18,480	2021	大原浄水場2系沈殿池排泥弁及び配水弁改修工事	18,150
2022	外水質計器改修工事	13,530	2021	大原浄水場後PAC注入設備設置工事	7,645

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-065	浜松第30分団	コミュニティ	1.2
14-084	浜名分団内野	コミュニティ	1.5
05-007	平ロスポーツ施設	市域	1.5
07-059	内野ラッコクラブ	生活	1.7
15-079	内野小学校	生活	1.7
08-067	内野幼稚園	生活	1.7
17-009	万葉の森公園	地域	1.9
15-138	浜名中学校	生活	1.9



基本情報	リストNo	25-003	施設コード	30003	所管課	本庁	上下水道部浄水課
	施設名	大原浄水場			施設	本庁	上下水道部浄水課
	人員数	正規職員(人)	15	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	3
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市域の広がりや給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活様式の多様化による生活用水の増加等に対応するため、三方原用水事業からの水利を確保し、昭和45年に大原浄水場が完成した。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	一定の利用者があり、需要は確保されている。				
		特記事項	平常時・災害時問わず現在必要な施設である。				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	今後の施設更新と維持管理に対する課題 ・水道施設の老朽化による、修繕及び更新費用の増大 ・将来的な水需要の減少による水道施設能力の見直し					
	対応策	・施設の更新費用を抑制し平準化を図るとともに、修繕にて延命化を行う。 ・大原浄水場の配水区域を見直し施設規模の適正化を図る					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	運転管理等の業務委託						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	36,075	37,297	39,243	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
		<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-004	施設コード	30004
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	伊平ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区引佐町伊平718-3		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・遠州広域水道(太田川系)の受水地点となる		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	69.84	土地面積 971.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1994/3/31	
	経過年数(主要建物)	29	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	358	326	309
	維持補修費(修繕費)	70	115	1,302
	物件費(光熱水費)	10,275	6,821	5,928
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	10,703	7,262	7,539	
行政コスト(B-A)		10,703	7,262	7,539
収支前年比		147.38	96.33	88.63
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	水改施北第3号伊平ポンプ場エアチャンバー更新工事	8,580			
2020	令和2年度 水改施北第1号 伊平ポンプ場受水流量計更新工事	6,336			
2018	水改施北第1号 伊平ポンプ場非常用発電機更新工事	22,464			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
25-017	仏坂配水場	—	1.0	
25-012	川合測ポンプ場	—	1.2	
同分類				
その他の分類				
13-048	伊平団地特定公共賃貸住宅	地域	0.3	
08-046	伊平幼稚園	生活	0.4	
18-063	旧伊平小学校	地域	0.4	
22-005	引佐伊平診療所	生活	0.5	
14-075	引佐第3分団伊平	コミュニティ	0.5	
14-022	北消防署引佐出張所	地域	1.3	
05-041	引佐運動広場管理棟	小規模等	1.8	



基本情報	リストNo	25-004	施設コード	30004	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	伊平ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・遠州広域水道(太田川系)の受水地点となる								
		主な業務内容	伊平ポンプ場から仏坂配水池への送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。							
		特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
事業③		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応、2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング								
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管		—	—	—	—					
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
記入欄	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	153,250	103,981	107,947	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-005	施設コード	30005
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	金指西水源		
所在(町名・番地)	北区引佐町金指 1658-5		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に供給するための自己水源。 ・谷津ポンプ場に送水		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	5.40	土地面積 261.00 うち所有面積 261.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) 雑種地
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1983/3/31	
経過年数(主要建物)	40		
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



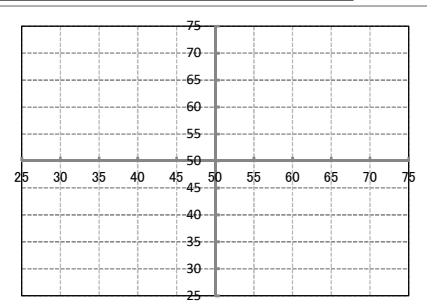
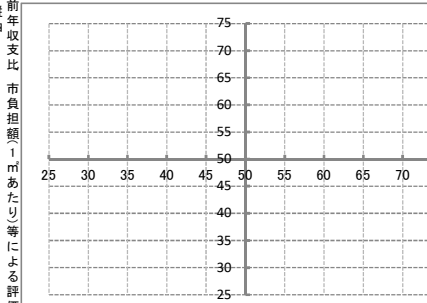
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	60	31	53
	維持補修費(修繕費)	34	0	0
	物件費(光熱水費)	1,268	816	760
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,362	847	813	
行政コスト(B-A)		1,362	847	813
収支前年比		160.80	104.18	87.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-013	谷津ポンプ場	—	1.0
26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	0.3
15-060	金指小学校	生活	0.3
13-052	坂田団地	地域	0.4
07-054	金指放課後児童クラブ	生活	0.5
13-049	金指団地	地域	0.5
08-058	金指幼稚園	生活	0.7
26-018	井伊谷浄化センター	—	0.8
14-019	北消防署	地域	0.9



基本情報	リストNo	25-005	施設コード	30005	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	金指西水源		施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に供給するための自己水源。・谷津ポンプ場へ送水					
		主な業務内容	金指西水源から谷津ポンプ場への導水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			主要な水源であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。		
		特記事項					
		—					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業②	—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング					
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—		
民生活導入	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	252,222	156,852	150,556	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。							
		今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

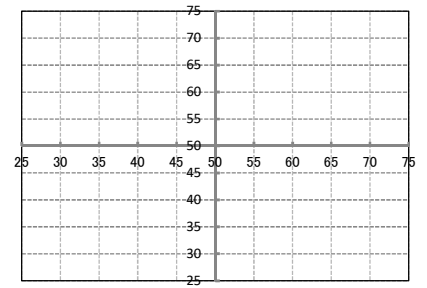
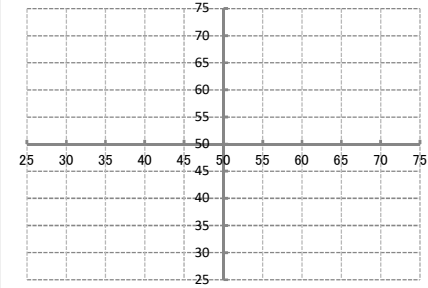
リストNo	25-006	施設コード	30006
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	寺野加圧ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区引佐町洪川1180-5		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	寺野西部高区地区へ配水するための配水ポンプ場		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	3.30	土地面積 347.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1973/3/31	
経過年数(主要建物)	50	土地情報	うち所有面積 343.00
			うち借地面積 4.00
			代表地目(現況地目)
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



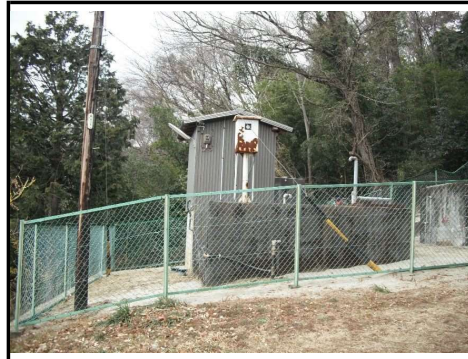
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	56	55	54
	維持補修費(修繕費)	38	146	0
	物件費(光熱水費)	14	28	24
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	108	229	78
行政コスト(B-A)		108	229	78
収支前年比		47.16	293.59	54.55
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な改修履歴					
近隣施設					
No	施設名	圏域種別	距離(km)		
25-007	寺野浄水場	—	0.2		
同分類					
その他の分類					
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	25-006	施設コード	30006	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	寺野加圧ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		寺野西部高区地区へ配水するための配水ポンプ場								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		給水世帯 高齢者 2世帯。			給水世帯 高齢者 2世帯。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			世帯の高齢化により需要は減少しているが、供給の義務は求められる。					
		特記事項			需要が無くなれば廃止検討					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
			2021	—	—		—			
			2020	—	—		—			
	事業②	—	2022	—	—		—			
			2021	—	—		—			
			2020	—	—		—			
	事業③	—	2022	—	—		—			
			2021	—	—		—			
			2020	—	—		—			
事業④	—	2022	—	—		—				
		2021	—	—		—				
		2020	—	—		—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進み、将来の水需要が見込まれないことから、施設更新が困難である。								
	対応策	日常点検を充実し、機械的なトラブルを極力少なくする。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	32,727	69,394	23,636	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-007	施設コード	30007	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	寺野浄水場			
所在(町名・番地)	北区引佐町渋川1228-4			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	寺野水源から受水した水を寺野地区へ配水する為			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	~			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3.30	土地面積 243.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1973/3/31		
	経過年数(主要建物)	50		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5	5	5
	収入計(A)	5	5	5
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	237	159	158
	維持補修費(修繕費)	461	1,491	101
	物件費(光熱水費)	90	72	66
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	788	1,722	325
行政コスト(B-A)		783	1,717	320
収支前年比		45.60	536.56	109.59
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-006	寺野加圧ポンプ場	—	0.2
13-053	渋川団地	地域	2.0

施設周辺地図情報			

基本情報	リストNo	25-007	施設コード	30007	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	寺野浄水場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		寺野水源から受水した水を寺野地区へ配水する為								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 水道施設の耐震不足や老朽化による施設・設備等の改築更新事業費の増大 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング								
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の優先化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
記入欄	民活導入	廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	237,273	520,303	96,970	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-011	施設コード	30008
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	西黒田加圧ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区引佐町西黒田 310-2		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	西黒田配水池(西黒田高区地区)へ送水する為		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	4.86	土地面積 52.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/4/1	
経過年数(主要建物)	21	代表地目(現況地目)	水道用地
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	111	94	107
	維持補修費(修繕費)	0	0	528
	物件費(光熱水費)	147	160	168
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	258	254	803
行政コスト(B-A)		258	254	803
収支前年比		101.57	31.63	285.77
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-041	引佐運動広場管理棟	小規模等	1.0
14-022	北消防署引佐出張所	地域	1.6



基本情報	リストNo	25-011	施設コード	30008	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	西黒田加圧ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		西黒田配水池(西黒田高区地区)へ送水する為								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
			2021	—	—		—			
			2020	—	—		—			
事業②		—	2022	—	—		—			
	2021		—	—		—				
事業③	—	2022	—	—		—				
		2021	—	—		—				
事業④	—	2022	—	—		—				
		2021	—	—		—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応								
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	53,086	52,263	165,226	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価</p>  <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p>  <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	25-012	施設コード	30009	所管課	本庁	上下水道部部上下水道課			
	施設名	川合渕ポンプ場			施設	上下水道部部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		西久留女木配水池へ送水する為。								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。						
	特記事項			現在浄水機能は停止中、送水ポンプ場として西久留女木配水池へ送水している。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設、設備のダウンサイジング 4. 現在、国有林内を無償借地している為、施設縮小に当り不要施設の撤去並びに返地の検討。								
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設、設備のダウンサイジングの検討及び返地に当り施設の再配置の検討								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	17,408	20,336	36,732	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-013	施設コード	30010
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	谷津ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区引佐町井伊谷 3210		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・2自己水源(金指西、坂田水源)から受水し、伊平ポンプ場へ送水している。		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	79.02	土地面積 1,001.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1994/3/31	
	経過年数(主要建物)	29	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	337	317	693
	維持補修費(修繕費)	58	681	1,163
	物件費(光熱水費)	5,127	3,471	3,264
	物件費(借地料)	10	10	8
	支出計(B)	5,532	4,479	5,128
行政コスト(B-A)		5,532	4,479	5,128
収支前年比		123.51	87.34	114.80
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度 水改修北第8号 谷津ポンプ場工機アタッチャー更新工事	12,980			
2019	令和元年度 水改修北第8号 谷津ポンプ場非常用発電機更新工事	22,770			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-005	金指西水源	—	1.0
26-018	井伊谷浄化センター	—	0.5
13-060	井伊谷団地	地域	0.5
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.6
15-066	井伊谷小学校	生活	0.7
08-058	金指幼稚園	生活	0.7
07-052	井伊谷放課後児童クラブ	生活	0.7
15-060	金指小学校	生活	0.7
08-048	引佐幼稚園	生活	0.7



基本情報	リストNo	25-013	施設コード	30010	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	谷津ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・2自己水源(金指西, 坂田水源)から受水し、伊平ポンプ場へ送水している。								
		主な業務内容	谷津ポンプ場から伊平ポンプ場への送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。							
		特記事項	需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①				2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
				2021	—			—		
				2020	—			—		
事業②				2022	—			—		
				2021	—			—		
				2020	—			—		
事業③				2022	—			—		
				2021	—			—		
				2020	—			—		
事業④			2022	—			—			
			2021	—			—			
			2020	—			—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング								
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
記入欄	民生活導入	廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	70,008	56,682	64,895	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
		公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-014	施設コード	30011	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	引佐中継ポンプ場			
所在(町名・番地)	北区引佐町渋川 4500-4			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	・旧中部簡水区域(引佐町川名地区)に送水(給水)するため。・別所配水池より受水し中央配水池へ送水するための中継ポンプ場			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	~			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	20.25	土地面積 78.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 78.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1978/3/31		
経過年数(主要建物)	45	代表地目(現況地目) 水道用地		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5	551	5
	収入計(A)	5	551	5
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	207	178	198
	維持補修費(修繕費)	39	998	0
	物件費(光熱水費)	1,954	1,334	1,176
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	2,200	2,510	1,374
行政コスト(B-A)		2,195	1,959	1,369
収支前年比		112.05	143.10	90.84
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-079	引佐第4分団別所	コミュニティ	0.8
22-006	引佐鎮玉診療所	生活	0.8
16-006	かわな野外活動センター	市域	1.7

施設周辺地図情報			

基本情報	リストNo	25-014	施設コード	30011	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	引佐中継ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		・旧中部簡水区域(引佐町川名地区)に送水(給水)するため。・別所配水池より受水し中央配水池へ送水するための中継ポンプ場								
		主な業務内容	中継ポンプ場から中央配水池へ送水							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング								
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管		—	—	—	—					
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合		—	—	—	—					
民生活導入	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	108,395	96,741	67,605	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	25-015	施設コード	30012	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	中代中継ポンプ場			施設	本庁	上下水道部北部上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		西久留女木配水池より受水し、中代高区配水池へポンプ圧送している。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。							
特記事項							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業②	—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業③	—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応					
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	80,658	151,235	84,568	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) / 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。							
		今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

施設カルテ 2023

リストNo	25-016	施設コード	30013	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	日比平配水場			
所在(町名・番地)	北区引佐町田沢 557-5			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	田沢高区、別所北部地区への配水と珍澆配水池へ送水する為。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1.74	土地面積 317.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 317.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1998/3/31		
経過年数(主要建物)	25	代表地目(現況地目)	水道用地	
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5	5	5
	収入計(A)	5	5	5
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	46	21	306
	維持補修費(修繕費)	0	17	122
	物件費(光熱水費)	17	18	24
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	63	56	452	
行政コスト(B-A)		58	51	447
収支前年比		113.73	11.41	604.05
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
15-134	引佐北部小学校・中学校	生活	0.9	
14-078	引佐第4分団田沢	コミュニティ	0.9	
08-055	引佐北部みさと幼稚園	生活	1.0	



基本情報	リストNo	25-016	施設コード	30013	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	施設名	日比平配水場			施設	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		田沢高区、別所北部地区への配水と珍携配水池へ送水する為。						
		主な業務内容	水の供給					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	人口減少による需要量の減少は見込まれる。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。								
特記事項								
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	水道施設の老朽化が進行し、老朽施設の維持管理、更新費用の増大が見込まれる。						
	対応策	使用年数の長寿命化や適性な規模への縮小、将来の水需要を検証しつつ、更新が必要な施設を見極め統廃合するなど、更新コストの縮減を図る。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	33,333	29,310	256,897	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	25-017	施設コード	30014	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	仏坂配水場		施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		伊平ポンプ場より受水し、引佐北部全地区へ送水する重要施設。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。				
	特記事項		—				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	仏坂配水場非常用発電機設置工事	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	4,895	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業②	仏坂配水場緊急遮断弁修繕工事	2021	497	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	仏坂配水場受電設備修繕工事	2022	—	—	—	
2021			217	—	—		
事業④	—	2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	水道施設の老朽化が進行し、老朽施設の維持管理、更新費用の増大が見込まれる。					
	対応策	使用年数の長寿命化や適性な規模への縮小、将来の水需要を検証しつつ、更新が必要な施設を見極め統廃合するなど、更新コストの縮減を図る。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	28,478	96,196	122,065	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。				今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。			
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民生活導入		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-018	施設コード	30015
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧浦川簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町浦川2012-16		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	52.54	土地面積 822.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1994/3/1	
	経過年数(主要建物)	29	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	11,317	11,192	12,106
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	11,317	11,192	12,106
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	686	665	719
	維持補修費(修繕費)	1,199	5,127	4,745
	物件費(光熱水費)	866	706	695
	物件費(借地料)	58	58	58
	支出計(B)	2,809	6,556	6,217
行政コスト(B-A)	-8,508	-4,636	-5,889	
収支前年比	183.52	78.72	57.54	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

主な改修履歴

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-031	佐久間瞑想館	地域	1.1
26-027	農業集落排水上市場処理場	—	1.3
08-075	浦川幼稚園	生活	1.6
03-066	浦川ふれあいセンター	生活	1.7
13-078	浦川団地	地域	1.8
14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	2.0
22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	2.0

同分類

その他の分類

施設周辺地図情報			
			

基本情報	リストNo	25-018	施設コード	30015	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧浦川簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
			2021	—	—					
			2020	—	—					
			—							
事業②	—	2022	—	—						
		2021	—	—						
		2020	—	—						
事業③	—	2022	—	—						
		2021	—	—						
		2020	—	—						
事業④	—	2022	—	—						
		2021	—	—						
		2020	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-161,934	-88,238	-112,086	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-019	施設コード	30016	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧横山町簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-22,875	-476,125	-492,250	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-020	施設コード	30017
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧横川簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区横川2002-1		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	81.00	土地面積 286.57
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2006/3/23	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,231	3,352	3,483
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	3,231	3,352	3,483
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,130	569	441
	維持補修費(修繕費)	5,235	6,289	2,111
	物件費(光熱水費)	695	551	508
	物件費(借地料)	32	32	32
支出計(B)	7,092	7,441	3,092	
行政コスト(B-A)		3,861	4,089	-391
収支前年比		94.42	-1045.78	119.57
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	25-020	施設コード	30017	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧横川簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	47,667	50,481	-4,827	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-021	施設コード	30018
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧簡易水道新道		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2664		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	40.80	土地面積 185.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1970/12/1	
	経過年数(主要建物)	52	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	173	185	192
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5	5	5
	収入計(A)	178	190	197
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	191	148	174
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	168	411	373
	物件費(借地料)	3	3	3
支出計(B)	362	562	550	
行政コスト(B-A)		184	372	353
収支前年比		49.46	105.38	70.32
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
25-025	向島浄水場	—	0.7	
25-029	上村配水池	—	1.1	
25-042	尾呂第2配水場	—	1.5	
同分類				
その他の分類	02-010	神原市有住宅	地域	0.2
	02-004	神原下教職員住宅	地域	0.2
	15-095	水窪小学校	生活	0.2
	02-005	神原上教職員住宅	地域	0.2
	14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.2
	10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.2
	04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.4
	01-028	水窪協働センター	地域	0.4
	施設周辺地図情報			



基本情報	リストNo	25-021	施設コード	30018	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧簡易水道新道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		人口減少傾向でわずかに減少している。				人口減少傾向でわずかに減少している。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。				
		特記事項								
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—		
—		2021	—	—	—	—	—			
—		2020	—	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	4,510	9,118	8,652	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-022	施設コード	30019
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧気多簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川996-5		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	21.74	土地面積 2,860.00 うち所有面積 2,860.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) 水道用地
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1996/4/1	
	経過年数(主要建物)	27	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	20,854	21,707	22,224
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	0	0
	収入計(A)	20,856	21,707	22,224
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	2,626	2,248	1,567
	維持補修費(修繕費)	9,064	966	10,655
	物件費(光熱水費)	4,203	2,977	3,153
	物件費(借地料)	57	57	57
	支出計(B)	15,950	6,248	15,432
行政コスト(B-A)		-4,906	-15,459	-6,792
収支前年比		31.74	227.61	43.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	春野町宮川浄水場急遽ろ過機修繕工事	4,642			
2019	令和元年度 春野町平水浄水場急遽ろ過装置塗装工事	6,588			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-046	宮川水道倉庫	—	1.5
同分類			
その他の分類			
13-071	気田団地	地域	0.0
02-014	気田地区教職員住宅	地域	0.0
16-013	春野学校給食センター	地域	0.3
15-142	春野中学校	生活	0.3
04-041	旧王子製紙製品倉庫	文化財	0.3
13-090	平木団地特定公共賃貸住宅	地域	0.3
08-077	気田幼稚園	生活	0.5
15-088	気田小学校	生活	0.5



基本情報	リストNo	25-022	施設コード	30019	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧気多簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
民活導入	代替サービス	—	—	—	—					
	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-225,667	-711,086	-312,420	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-023	施設コード	30020			
利用用途別分類(施設分類)	上水道					
施設名	旧熊市場簡易水道					
所在(町名・番地)	天竜区熊1976-4					
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介			
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介			
設置根拠(法)	地方公営企業法					
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。					
主な利用者	給水区域内の住民					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	23.00	土地面積	122.85		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	122.85	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1985/3/1				
	経過年数(主要建物)	38				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,977	2,122	2,255
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,977	2,122	2,255
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	393	676	358
	維持補修費(修繕費)	1,795	0	2,233
	物件費(光熱水費)	407	290	269
	物件費(借地料)	33	13	13
	支出計(B)	2,628	979	2,873
行政コスト(B-A)		651	-1,143	618
収支前年比		-56.96	-184.95	-42.59
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-120	天竜第11分団熊	コミュニティ	0.1
03-059	熊ふれあいセンター	生活	0.1
10-021	くまデイサービスセンター	地域	0.3
15-090	熊小学校	生活	0.3
04-050	黒滝あずまや	小規模等	1.7



基本情報	リストNo	25-023	施設コード	30020	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧熊市場簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	28,304	-49,696	26,870	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-024	施設コード	30021
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧月簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区月755-2		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	9.00	土地面積 131.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1999/4/1	
経過年数(主要建物)	24	代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	723	706	677
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	723	706	677
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	236	725	218
	維持補修費(修繕費)	389	145	612
	物件費(光熱水費)	119	100	81
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	744	970	911
行政コスト(B-A)		21	264	234
収支前年比		7.95	112.82	-216.67
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

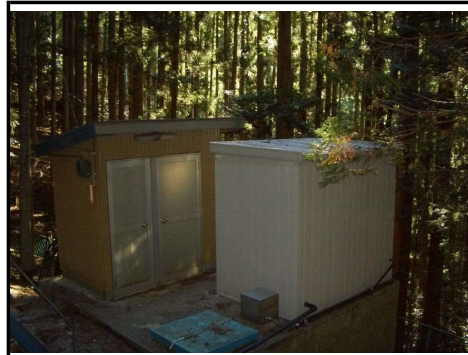
近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	05-027	天竜林業体育館	地域
16-007		天竜自然体験センター湖畔の家	市域	0.3
05-024		天竜ボート場艇庫	地域	0.4
04-031		相津マリナー	地域	1.1
14-107		天竜第7分団相津	コミュニティ	1.2
05-032		伊砂ボートパーク艇庫	地域	1.8



基本情報	リストNo	25-024	施設コード	30021	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧月簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,333	29,333	26,000	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-025	施設コード	30022	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	向島浄水場			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町地頭方794-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	11.64	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1975/12/1		
	経過年数(主要建物)	47		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	277	296	308
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	277	296	308
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	405	346	354
	維持補修費(修繕費)	2,039	2,153	451
	物件費(光熱水費)	561	480	439
	物件費(借地料)	27	27	27
	支出計(B)	3,032	3,006	1,271
行政コスト(B-A)		2,755	2,710	963
収支前年比		101.66	281.41	74.65
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-021	旧簡易水道新道	—	0.7
25-029	上村配水池	—	0.9
25-042	尾呂第2配水場	—	1.6
同分類			
その他の分類			
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.7
01-028	水窪協働センター	地域	0.7
04-027	水窪民俗資料館	地域	0.8
04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財	0.8
03-018	水窪文化会館	地域	0.8
10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.8
15-095	水窪小学校	生活	0.8
14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	25-025	施設コード	30022	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	向島浄水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	236,684	232,818	82,732	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-026	施設コード	30023
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧佐久間簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町川合20-8		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	183.72	土地面積 744.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1972/3/1	
	経過年数(主要建物)	51	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	22,415	22,158	22,703
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	22,415	22,158	22,703
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	2,465	2,723	2,119
	維持補修費(修繕費)	6,290	4,274	4,672
	物件費(光熱水費)	6,309	4,577	4,096
	物件費(借地料)	293	294	325
	支出計(B)	15,357	11,868	11,212
行政コスト(B-A)	-7,058	-10,290	-11,491	
収支前年比	68.59	89.55	78.27	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

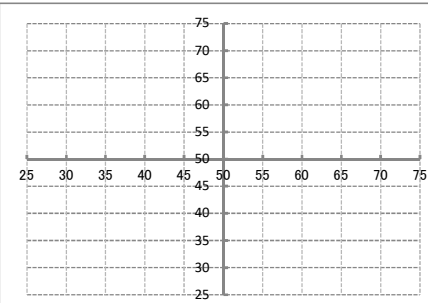
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-132	佐久間第1分団川合	コミュニティ	0.2
02-006	川合教職員住宅	地域	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	1.3
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	1.5
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	1.5
02-017	平沢医師住宅	地域	1.5
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	1.6
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	1.6



基本情報	リストNo	25-026	施設コード	30023	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧佐久間簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-38,417	-56,009	-62,546	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-028	施設コード	30025	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧若身簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-274,151	-316,165	-408,372	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-029	施設コード	30026				
利用用途別分類(施設分類)	上水道						
施設名	上村配水池						
所在(町名・番地)	天竜区水窪町地頭方446						
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域					
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設				
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介				
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介				
設置根拠(法)	地方公営企業法						
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例						
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。						
主な利用者	給水区域内の住民						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	—						
建物情報	総延床面積	7.60	土地面積	0.00			
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			土地情報	0.00	
	地上階数(主要建物)	1					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—			代表地目(現況地目)	0.00	
	建築年月日(主要建物)	1978/12/1					
	経過年数(主要建物)	44					
用途地域	都市計画区域外						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	748	801	831
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	748	801	831
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	232	222	242
	維持補修費(修繕費)	747	85	692
	物件費(光熱水費)	94	15	13
	物件費(借地料)	54	54	54
支出計(B)	1,127	376	1,001	
行政コスト(B-A)		379	-425	170
収支前年比		-89.18	-250.00	180.85
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-025	向島浄水場	—	0.9
25-021	旧簡易水道新道	—	1.1
14-144	水窪第1分団第4部上村蔵置所	コミュニティ	0.1
15-143	水窪中学校	生活	0.6
05-026	水窪総合体育館	地域	0.7
14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.8
13-076	水窪団地	地域	0.9
10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.9
15-095	水窪小学校	生活	1.0
14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	1.0



基本情報	リストNo	25-029	施設コード	30026	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	上村配水池			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	49,868	-55,921	22,368	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-030	施設コード	30027
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧城西簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町相月2526		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	10.90	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1990/3/1	
経過年数(主要建物)	33	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,421	3,619	3,508
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	3,421	3,619	3,508
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	525	534	572
	維持補修費(修繕費)	307	4,010	2,485
	物件費(光熱水費)	711	575	490
	物件費(借地料)	71	71	71
	支出計(B)	1,614	5,190	3,618
行政コスト(B-A)		-1,807	1,571	110
収支前年比		-115.02	1428.18	-5.69
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-139	佐久間第2分団松島	コミュニティ	0.4
13-077	芋堀団地	地域	0.6
03-064	城西ふれあいセンター	生活	0.6
04-040	高根城復元施設	文化財	1.5
26-025	城西浄化センター	—	1.5

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	25-030	施設コード	30027	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧城西簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①				2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
				2021	—			—		
				2020	—			—		
		事業②			2022	—			—	
			2021	—			—			
			2020	—			—			
事業③			2022	—			—			
			2021	—			—			
			2020	—			—			
事業④			2022	—			—			
			2021	—			—			
			2020	—			—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-165,780	144,128	10,092	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-032	施設コード	30029	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	西浦浄水施設			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-29,471	36,772	-19,206	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-033	施設コード	30030	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧西藤平簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-7,789	-42,933	-44,344	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	25-034	施設コード	30031			
利用用途別分類(施設分類)	上水道					
施設名	旧石神簡易水道					
所在(町名・番地)	天竜区石神836					
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介			
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介			
設置根拠(法)	地方公営企業法					
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。					
主な利用者	給水区域内の住民					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	42.00	土地面積	950.00		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	950.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1996/8/1				
	経過年数(主要建物)	26				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,523	1,598	1,590
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,523	1,598	1,590
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	361	644	348
	維持補修費(修繕費)	128	558	350
	物件費(光熱水費)	474	386	362
	物件費(借地料)	15	15	15
支出計(B)	978	1,603	1,075	
行政コスト(B-A)		-545	5	-515
収支前年比		-10900.00	-0.97	66.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	26-028	落合石神地区汚水処理場	—	2.0		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	25-034	施設コード	30031	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧石神簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-12,976	119	-12,262	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-035	施設コード	30032	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	施設名	旧川上簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。						
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給					
		主な利用者	給水区域内の住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			人口減少傾向でわずかに減少している。				
	特記事項			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。						
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	21,914	154,693	72,307	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-036	施設コード	30033	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧相月簡易水道下日余ポンプ場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,345,679	900,309	271,605	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-037	施設コード	30034	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	旧相月簡易水道小相月ポンプ場			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町相月676-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	5.40	土地面積 120.80	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1988/3/1		
	経過年数(主要建物)	35		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,071	1,184	1,205
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,071	1,184	1,205
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	889	304	305
	維持補修費(修繕費)	4,205	3,504	1,522
	物件費(光熱水費)	320	276	241
	物件費(借地料)	17	17	17
支出計(B)	5,431	4,101	2,085	
行政コスト(B-A)		4,360	2,917	880
収支前年比		149.47	331.48	-291.39
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-036	旧相月簡易水道下日余ポンプ場	—	2.0
26-025	城西浄化センター	—	1.2



基本情報	リストNo	25-037	施設コード	30034	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	施設名	旧相月簡易水道小相月ポンプ場			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。						
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給					
		主な利用者	給水区域内の住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 人口減少傾向でわずかに減少している。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項 —							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。						
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	807,407	540,185	162,963	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-038	施設コード	30035	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧長沢簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	20,833	17,158	32,988	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-039	施設コード	30036	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	長尾配水場			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3951-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	2.80	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1975/8/1		
	経過年数(主要建物)	47		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



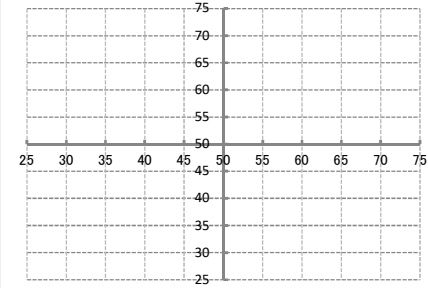
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,496	2,592	2,774
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	3
	収入計(A)	2,496	2,592	2,777
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	504	609	322
	維持補修費(修繕費)	4,256	4,935	674
	物件費(光熱水費)	245	159	180
	物件費(借地料)	91	91	91
支出計(B)	5,096	5,794	1,267	
行政コスト(B-A)		2,600	3,202	-1,510
収支前年比		81.20	-212.05	129.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

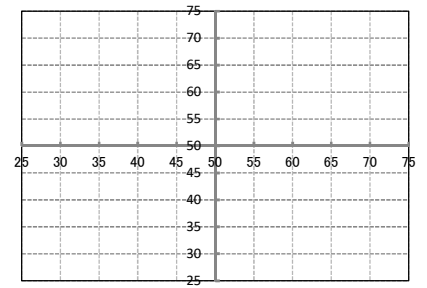
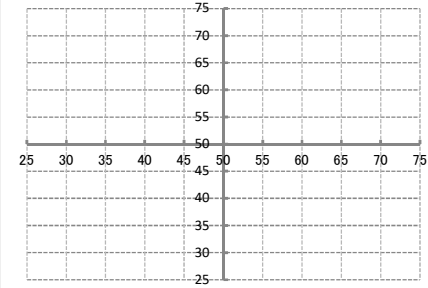
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-042	尾呂第2配水場	—	0.9
14-147	水窪第2分団第6部長尾詰所	コミュニティ	0.3
13-070	つつじヶ丘団地	地域	1.1
02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	1.2
13-082	大原団地	地域	1.2
14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	1.4
05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	1.4
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	1.7
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	1.7



基本情報	リストNo	25-039	施設コード	30036	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	長尾配水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	928,571	1,143,571	-539,286	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-040	施設コード	30037	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧渡ヶ島簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	60,739	38,870	-89,348	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-041	施設コード	30038
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧東雲名簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区東雲名591-5		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	79.00	土地面積 471.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,499	1,536	1,565
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	3
	収入計(A)	1,499	1,536	1,568
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	611	913	455
	維持補修費(修繕費)	1,283	182	99
	物件費(光熱水費)	493	410	375
	物件費(借地料)	11	11	11
	支出計(B)	2,398	1,516	940
行政コスト(B-A)		899	-20	-628
収支前年比		-4495.00	3.18	107.72
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-109	天竜第7分団東雲名	コミュニティ	0.5
05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等	1.7
18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域	1.8
05-035	龍山健康増進センター	生活	1.8
14-108	天竜第7分団小川	コミュニティ	1.9
14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ	2.0
13-089	戸倉団地定住促進住宅	地域	2.0
13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域	2.0



基本情報	リストNo	25-041	施設コード	30038	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	施設名	旧東雲名簡易水道			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。						
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給					
		主な利用者	給水区域内の住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		人口減少傾向でわずかに減少している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			事業②			2022	—	—
事業③	—	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			事業④			2022	—	—
事業④	—	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			施設に関する課題等(ハード面から)					
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。						
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
民活導入	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	11,380	-253	-7,949	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

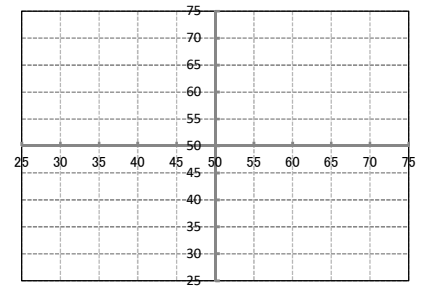
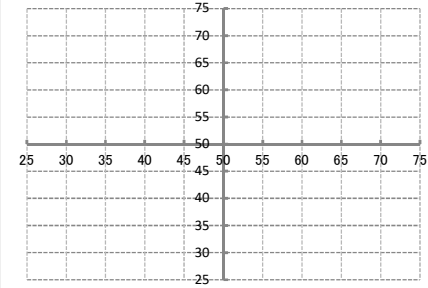
リストNo	25-042	施設コード	30039
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	尾呂第2配水場		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3592-1		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	8.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,042	2,270	2,270
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	2,042	2,270	2,270
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	230	244	187
	維持補修費(修繕費)	3,773	0	0
	物件費(光熱水費)	71	61	59
	物件費(借地料)	46	46	46
	支出計(B)	4,120	351	292
行政コスト(B-A)		2,078	-1,919	-1,978
収支前年比		-108.29	97.02	111.69
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	25-039	長尾配水場	—	0.9		
	25-021	旧簡易水道新道	—	1.5		
	25-025	向島浄水場	—	1.6		
その他の分類	13-070	つつじヶ丘団地	地域	0.3		
	13-082	大原団地	地域	0.3		
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	0.4		
	14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	0.5		
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.6		
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.8		
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.8		
	14-147	水窪第2分団第6部長尾詰所	コミュニティ	1.0		
施設周辺地図情報						

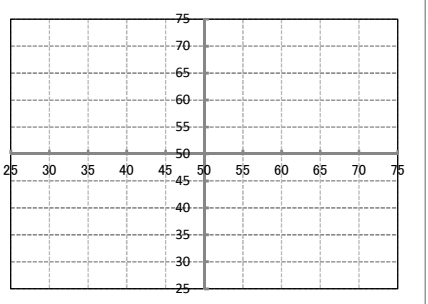
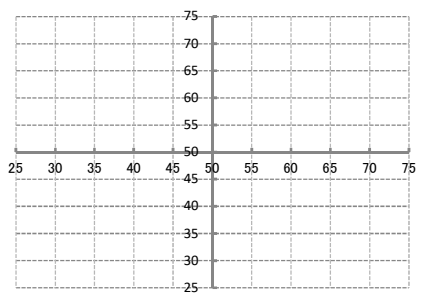
基本情報	リストNo	25-042	施設コード	30039	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	尾呂第2配水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	259,750	-239,875	-247,250	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-043	施設コード	30040	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧豊岡簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	53,273	-18,681	-69,709	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

基本情報	リストNo	25-044	施設コード	30041	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	門桁配水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	493,842	43,199	28,217	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	25-045	施設コード	30042
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧両島簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区上野198-3		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	99.00	土地面積 1,259.77
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1996/8/1	
	経過年数(主要建物)	26	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



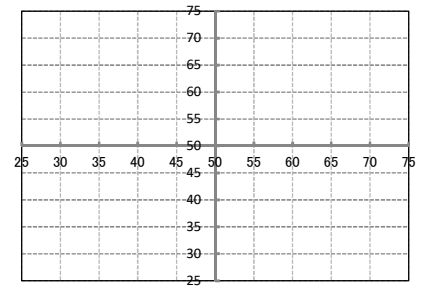
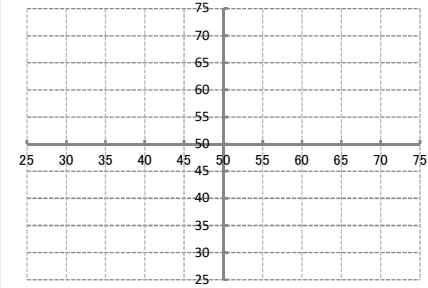
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	8,140	8,082	8,632
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	8,140	8,082	8,632
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	793	1,518	702
	維持補修費(修繕費)	2,302	860	795
	物件費(光熱水費)	2,139	1,654	1,510
	物件費(借地料)	31	31	31
	支出計(B)	5,265	4,063	3,038
行政コスト(B-A)		-2,875	-4,019	-5,594
収支前年比		71.54	71.84	114.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-111	天竜第8分団上野	コミュニティ	0.2
16-008	ほっとエリア阿多古活動拠点施設	市域	0.2
03-061	下阿多古ふれあいセンター	生活	0.4
08-076	下阿多古幼稚園	生活	1.1
15-087	下阿多古小学校	生活	1.1
14-114	天竜第8分団両島	コミュニティ	1.3
26-029	両島地区汚水処理場	—	1.3
14-113	天竜第8分団青谷	コミュニティ	1.6

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	25-045	施設コード	30042	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	施設名	旧両島簡易水道			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。						
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給					
		主な利用者	給水区域内の住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			人口減少傾向でわずかに減少している。				
	特記事項			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。				
施設に関する課題等(ハード面から)	事業名・開催回数(2022)							
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況		
			2021	—	のべ募集人員		参加者数	
			2020	—	—		—	
			2020	—	—		—	
	事業②	年度	2022	—	—		—	
			2021	—	—		—	
			2020	—	—		—	
	事業③	年度	2022	—	—		—	
			2021	—	—		—	
		2020	—	—		—		
事業④	年度	2022	—	—		—		
		2021	—	—		—		
		2020	—	—		—		
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。						
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
		広域化	—	—	—	—		
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-29,040	-40,596	-56,505	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		公共施設等総合管理計画より抜粋	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-046	施設コード	30043		
利用用途別分類(施設分類)	上水道				
施設名	宮川水道倉庫				
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川906-1				
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介		
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介		
設置根拠(法)	地方公営企業法				
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。				
主な利用者	給水区域内の住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
建物情報	総延床面積	51.03	土地面積	51.03	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	51.03
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1982/3/16			
	経過年数(主要建物)	41			
用途地域	都市計画区域外				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設					
No	施設名	圏域種別	距離(km)		
25-022	旧気多簡易水道	—	1.5		
同分類					
その他の分類	03-017	春野文化センター	地域	0.5	
	04-029	白井鐵造記念館	地域	0.5	
	04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.5	
	21-007	春野斎場	地域	1.0	
	26-022	気田浄化センター	—	1.0	
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	1.2	
	13-090	平木団地特定公共賃貸住宅	地域	1.2	
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	1.2	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	25-046	施設コード	30043	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	宮川水道倉庫			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①				2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
				2021	—			—		
				2020	—			—		
				2022	—			—		
事業②			2021	—			—			
			2020	—			—			
	事業③			2022	—			—		
				2021	—			—		
		2020	—			—				
事業④				2022	—			—		
			2021	—			—			
			2020	—			—			
			2022	—			—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-047	施設コード	30044	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	旧熊切簡易水道			
所在(町名・番地)	天竜区春野町長蔵寺1256-16			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公共企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	45.86	土地面積 453.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	うち所有面積	453.00		
	耐震工事(主要建物)	—		
	うち借地面積	0.00		
建築年月日(主要建物)	2003/2/28	代表地目(現況地目)	水道用地	
経過年数(主要建物)	20			
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,047	1,065	1,154
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,047	1,065	1,154
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	991	455	401
	維持補修費(修繕費)	749	1,614	1,782
	物件費(光熱水費)	586	458	394
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	2,326	2,527	2,577
行政コスト(B-A)		1,279	1,462	1,423
収支前年比		87.48	102.74	-700.99
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類			
その他の分類	14-124	春野第2分団熊切	コミュニティ 0.2
	13-072	熊切団地	地域 0.2



基本情報	リストNo	25-047	施設コード	30044	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧熊切簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
民活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	27,889	31,880	31,029	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	—
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-048	施設コード	30045
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	五和杉行師平浄水場		
所在(町名・番地)	天竜区春野町杉670		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	16.20	土地面積 150.00 うち所有面積 150.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) 山林
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1995/3/31	
	経過年数(主要建物)	28	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,036	1,091	1,093
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,036	1,091	1,093
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	439	153	153
	維持補修費(修繕費)	1,216	3,615	0
	物件費(光熱水費)	464	381	295
	物件費(借地料)	20	20	20
	支出計(B)	2,139	4,169	468
行政コスト(B-A)		1,103	3,078	-625
収支前年比		35.83	-492.48	211.86
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

主な改修履歴

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-125	春野第2分団杉	コミュニティ	1.2

同分類

その他の分類

施設周辺地図情報			

基本情報	リストNo	25-048	施設コード	30045	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	五和杉行師平浄水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
—	2020	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	68,086	190,000	-38,580	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-049	施設コード	30046			
利用用途別分類(施設分類)	上下水道					
施設名	上下水道部西営業所					
所在(町名・番地)	西区館山寺町59-2					
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	—			
所管課	本庁	上下水道部お客さまサービス課	課長名 大野 雅史			
	施設	上下水道部お客さまサービス課	課長名 大野 雅史			
設置根拠(法)	地方公営企業法					
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的	水道料金等の徴収業務を実施するための拠点とする。					
主な利用者	業務委託受託会社					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ~ 17:15					
建物情報	総延床面積	297.31	土地面積	1,088.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,088.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1985/3/31				
	経過年数(主要建物)	38				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	60,167	—	60,167		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	60,167	—	60,167			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	119	127	127
	維持補修費(修繕費)	583	1,023	1,230
	物件費(光熱水費)	494	426	477
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,196	1,576	1,834
行政コスト(B-A)		1,196	1,576	1,834
収支前年比		75.89	85.93	241.95
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	08-037	北庄内幼稚園	生活
18-064		旧北庄内小学校	地域	0.3
14-052		浜松第39分団	コミュニティ	0.4
16-003		動物愛護教育センター	市域	0.5
04-004		動物園	広域	0.5
04-005		フラワーパーク	広域	0.6
03-096		平松会館	コミュニティ	0.9
20-006		平和最終処分場	地域	1.1



基本情報	リストNo	25-049	施設コード	30046	所管課	本庁	上下水道部お客さまサービス課			
	施設名	上下水道部西営業所			施設	上下水道部お客さまサービス課				
	人員数	正規職員(人)	37	会計年度任用職員(人)	14	再任用(人)	6			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		水道料金等の徴収業務を実施するための拠点とする。								
		主な業務内容	水道料金等の徴収業務							
		主な利用者	業務委託受託会社							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 水道料金徴収は引き続き実施するため、継続性・妥当性は確保されている。									
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 —									
	特記事項 —									
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2021	—	—					
			2020	—	—					
	事業②	—	2022	—	—					
			2021	—	—					
			2020	—	—					
	事業③	—	2022	—	—					
			2021	—	—					
2020			—	—						
事業④	—	2022	—	—						
		2021	—	—						
		2020	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化による施設の損傷や各設備の故障等が近年数多く発生している。								
	対応策	施設及び各設備は修繕を基本として継続活用をしていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—					
		民間移管	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—					
統廃合	—	—	—							
複合化	—	—	—							
広域化	—	—	—							
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	4,023	5,301	6,169	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
業務委託受託会社が水道料金等の徴収業務を実施するための拠点施設として、適切な維持管理に努める。									